

# 教育福祉常任委員会会議記録

1. 期 日 令和4年6月2日(木) 開会 13時00分  
閉会 13時13分
2. 場 所 議事堂
3. 付議案件 閉会中の継続調査(所管事務調査)について  
「二宮町の資源を生かした子どもの育成環境」
4. 出席者 根岸委員長、羽根副委員長、小笠原委員、前田委員、一石委員、善波議長  
傍聴議員 0名  
一般傍聴者 0名  
議会事務局 3名 局長、課長、副主幹

---

## 閉会中の継続調査(所管事務調査)について「二宮町の資源を生かした子どもの育成環境」

委員長 本日午前中から集まっていたいただき礼を言う。午前中に二宮町の資源を生かした子どもの育成環境、不登校、あるいは不登校の前段階における子どもたちの居場所づくりということで、令和3年4月から令和4年の1月まで進めてきた調査研究の中身、9月議会には提言を提出できるようたたき台について検証していただき、文章もある程度皆様のおかげでまとまったところである。これからの職員とのやり取りも含めて日程調整のお願いをしたところである。今お諮りしたいのは継続調査の報告についてである。これより読み上げる。閉会中の継続調査の報告について9月議会に提言書を提出できるよう提言内容について議論を始めた。現段階では課題提起と提言事項についておよその内容を詰めたところである。まだ案をたたいている段階なので、引き続き6月議会以降もまとめ作業をしていく。加えて町内の新しい取り組みを見に行く予定にしたいと思うので6月議会以降も調査を継続することに議会の承認をいただきたくお願いする。

一石 町内の新しい取り組みはどんなことを想定しているのか。

委員長 東京大学果樹園跡地のところで不登校の子、親を含めて集える場所を作っていると話を聞いた。そこに直接現場を見させてもらいながら、話を聞くという機会を設けるとよいのではないかということになっている。ここにきちんと書いた方がよいか。

一石 勉強会で町内の2か所のボトムアップの取り組みを見に行くという話だったが、先ほど勉強会の中で提言事項に盛り込みたいこととして、民間フリースクールに対して授業料支援をすることを要望したらどうかという内容が出た。これについては国ではなく、県と町で考えるのかと思うので県の聞き取りが必要ではないかと思

うがいかがか。

委員長 聞き取りが必要との意見が出たが他の委員の方はいかがか。

小笠原 それは大事なことだと思うので聞き取りも含めて調査する必要があると思う。

委員長 先ほど一石議員から話していただいた内容というのは、動きが出そうだということを含めての話ですね。

一石 そうですね。国ではフリースクールへの補助は考えていなくて、県や町の取り組みになるというのが、文科省へのヒアリングの答えだった。先ほどの勉強会でも不登校の子どもたちのケアにおいて、国の対策が非常に遅れているのは大きな事実であるということが話題になった。自治体以外で考えるのは大事だし、住民とボトムアップでいろいろなことを考えていくのも大事であるが、大きな問題として町に言うだけでなく、国にも要望するような方策が考えられると思うがいかがか。

委員長 要望書を提出するまでを、この委員会でまとめられるか分からない。委員会で意見書を議会に上げられるように議会に提出していくという意味か。

一石 そういうプロセスがどうなのかということである。

委員長 そこまでの議論が煮詰まるとか、委員の皆さんと共有認識をはかれれば 9 月議会までに間に合うこともあるかと思うが、そのことについては 6 月議会以降の話合いということよろしいか。

一石 そうですね。

委員長 最初に示したものを少し変更する。下から 2 行目の町内の取り組みについては、一色小学校と東京大学果樹園跡地の 2 か所を見に行くことにしたい。県や国への聞き取りについてはいかがか。

前田 今の時点で私は県や国の聞き取りは必要ないと思っている。国としては調査結果をまとめていくわけで、おそらくまとめたうえで助成金を予算化することに踏み込んでいくと思う。現在、県ではこれに関して何も考えを持っておらず、国から県に調査結果を元にした何らかの通達、指針が下りてくる。現在、県に言っても「何も策を持っていない。」ただそういう答えしかいただけないかと思うので、町に提言するだけでよいと思うがいかがか。

委員長 一石委員からは国の動きがあるところを、委員長報告に盛り込みたいのだからと思うが。

一石 文科省に確認したところ、校内のフリースクールやいろいろなチャレンジの効果を調査しているとのことだった。先ほど私が問題にしたフリースクールを利用する保護者に対して、授業料の支援をするというそういう方向性が望ましいと文科省は言っているが、それについて国はやっていない。支援については県や自治体になるとのことだったので、県はどのような施策をもって、実際どのように動いているのか、これからどういうことを考えているのか聞くべきだと思っている。それは電話一本で済むかもしれないが、それが必要だと思った。先ほど東京大学果樹園跡地と言われたが「みらいはらっぱ」でやっている事業なので、そこも言うべきだと思った。調べるのは簡単で国に意見書を出すかどうかについては、6月議会の後で考えると私は言った。

委員長 国や県へというのも6月議会以降になると思うが、先ほど一石さんに短い時間で説明いただいたが、もう少し詳しいところの情報を一石委員からいただくということではよろしいか。

一石 はい。

委員長 ではそのようにお願いします。報告には県や国ということは載せないままにさせていただきます。その情報を一石さんからいただき、委員の皆さんも動こうかと納得いったところで次に進む案件かと思う。

前田 ちょっと待っていただきたい。6月議会の中で行う委員長報告の中では国や県については入れませんよね。それ以降のことは23日に勉強会を行うので話し合いをすればよいのではないかと。

委員長 そうする予定である。他に何かあるか。ないようなので、このように進めていく。これで、本日の教育福祉常任委員会を閉会とする。

閉会 13時13分